

決算委員会

委員一覧 (30名)

委員長	中川	雅治 (自民)	自見	はなこ (自民)	古賀	之士 (立憲)
理事	長峯	誠 (自民)	高橋	克法 (自民)	那谷屋	正義 (立憲)
理事	西田	昌司 (自民)	豊田	俊郎 (自民)	吉田	忠智 (立憲)
理事	森屋	宏 (自民)	藤井	基之 (自民)	熊野	正士 (公明)
理事	野田	国義 (立憲)	舞立	昇治 (自民)	宮崎	勝 (公明)
理事	三浦	信祐 (公明)	三木	亨 (自民)	山本	博司 (公明)
理事	芳賀	道也 (民主)	山下	雄平 (自民)	柴田	巧 (維新)
	足立	敏之 (自民)	山田	俊男 (自民)	柳ヶ瀬	裕文 (維新)
	磯崎	仁彦 (自民)	小沼	巧 (立憲)	岩渕	友 (共産)
	岩井	茂樹 (自民)	勝部	賢志 (立憲)	武田	良介 (共産)
						(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第202回国会において、本委員会に付託された案件はなかった。

〔国政調査〕

第201回国会閉会後の6月22日、外務省、

厚生労働省及び防衛省に係る経理等に関する件を議題とし、質疑を行った。次いで、7月7日、「防衛省の経理」に関する決議を行った。

(2) 委員会経過

○令和2年6月22日(月) (第201回国会閉会後 第1回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・外務省、厚生労働省及び防衛省に係る経理等に関する件について加藤厚生労働大臣、西村国務大臣、茂木外務大臣、河野防衛大臣、岡田内閣官房副長官、義家法務副大臣、長谷川総務副大臣、大塚内閣府副大臣、岡村参議院事務総長、森田会計検査院長、田中検査官、政府参考人、会計検査院当局及び参考人独立行政法人国立病院機構理事長楠岡英雄君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

野田国義君 (※)、小西洋之君 (※)、古賀之士君 (※)、浜口誠君 (※)、東徹君 (維

新)、梅村聡君 (維新)、紙智子君 (共産)、武田良介君 (共産)、勝部賢志君 (※)、小沼巧君 (※)、古賀之士君 (※)、浜口誠君 (※)、柴田巧君 (維新)、柳ヶ瀬裕文君 (維新)、井上哲士君 (共産)、田村智子君 (共産)

○令和2年7月7日(火) (第201回国会閉会後 第2回)

- ・「防衛省の経理」に関する決議を行った。
※ 立憲・国民・新緑風会・社民

○令和2年9月18日(金) (第1回)

- ・理事の補欠選任を行った。
- ・国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

(3) 委員会決議

—「防衛省の経理」に関する決議—

内閣は、本決議を踏まえ、適切な措置を講じ、「平成30年度決算審査措置要求決議」と併せて、その結果を参議院決算委員会に報告すべきである。

- 陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の配備に関するプロセスの停止について

弾道ミサイル防衛能力の抜本的向上のため、平成29年12月の国家安全保障会議及び閣議において導入が決定された陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）については、ブースター落下地点等の技術面や安全面での確認が十分に行われぬまま配備計画が開始された。イージス・アショアの配備候補地からの配備に対する懸念や反対意見が示されている中で、令和2年6月に、防衛省は、技術的な課題を解消するには相当な費用と期間を要することが明確になったとして配備に関するプロセスを急ぎ停止・断念した。

政府は、配備停止・断念までのプロセスの検証を行い、配備候補地となった地方公共団体、地元住民等にここに至る経緯や今後の対応を丁寧に説明するとともに、イージス・アショアに係る埋没費用を正確に把握し、可能な限り低減させるよう日米間で十分に協議すること。